



# 平成29年度 よこはま夢ファンド報告書



横浜市

# よこはま夢ファンド制度の概要

『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動をみんなで支えるための基金です。

平成29年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、平成29年度の活用状況についてご報告させていただきます。

これからも皆さまのお気持ちを無駄にすることなく、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしくお願いいたします。

## よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド(市民活動推進基金)に積み立てて、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、市民活動団体への専門アドバイザーの派遣、団体の会計・税務・労務・組織運営などの各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆様、企業の皆様などからのご寄附

「よこはま夢ファンド(横浜市市民活動推進基金)」に積み立てます

### 登録団体への支援

#### ●登録団体助成金

登録しているNPO法人へ財政的な支援を行います。

#### ●組織基盤強化助成金

「人材」「資金」「情報」などの組織の基盤を強化するための取組に助成します。

◆外部委員による審査について  
各種助成金の申請や団体の登録については、次の審査会で審査を行います。

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・横浜市市民活動運営支援事業部会

### 市民活動団体への支援

#### ●専門アドバイザー派遣

市民活動団体の運営に詳しい専門アドバイザー(税理士や社会保険労務士)を派遣しアドバイスをを行います。

#### ●各種講座の実施

会計、税務、労務、組織運営等に関する講座を定期的開催し、市民活動団体の活動を支援しています。



## ●登録団体助成金

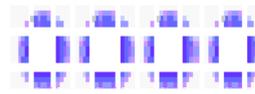
登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

## ●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための助成金です。ファシリテーターを活用した”自己評価”の機会の提供や、この助成金を受けている団体同士の情報交換会を開催し、団体の組織基盤強化を支援します。



# よこはま夢ファンドの特色



### <特色1>

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

#### 【団体】

登録しているNPO法人 216団体(平成30年11月末現在)

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

#### 【活動分野】

- ①保健・福祉・子ども(保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- ②まちづくり・環境(まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- ③文化・スポーツ(生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- ④国際・人権・平和(国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- ⑤経済・観光振興(情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

### <特色2>

寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。(ふるさと納税)

(個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入)

#### — ふるさと納税 —

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限はあります)。

## 寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。

### ふるさと納税額(寄附金額) (例:個人の方の場合)

<b>所得税の控除額</b> (寄附金額-2,000円) × 所得税の税率	<b>住民税の控除額</b> 基本分(寄附金額-2,000円)×10%(住民税の税率) + 特例分 住民税所得割の2割が上限	<b>自己負担額</b> 2,000円
--	---	------------------------

- ・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。
- ・所得税率は課税所得に応じて異なります。
- ・住民税の控除(基本分)の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。
- ※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

# 平成29年度 よこはま夢ファンドの報告

## — 収入の部 —

＜平成29年度にいただいたご寄附＞ 件数 276件 総額 27,247,411円

<b>○希望する団体への寄附</b>	265件	計 23,129,133円
--------------------	------	---------------

<b>○希望する活動分野への寄附</b>	6件	計 3,422,828円
----------------------	----	--------------

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	6件	3,422,828円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	0件	0円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	0件	0円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	0件	0円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

<b>○希望の分野や団体を指定しない寄附</b>	5件	計 695,450円
--------------------------	----	------------

※創設～平成29年3月までに、合計1,783件：総額263,056,166円の寄附をいただいています。

### 平成29年度にご寄附いただいた方々

❖❖❖❖❖❖❖❖ お名前のご公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※五十音順 ❖❖❖❖❖❖❖❖

- |           |          |          |                  |
|-----------|----------|----------|------------------|
| 赤沼 大史 様   | 岸本 直彦 様  | 隅田 みどり 様 | 福田 憲明 様          |
| 朝香 信明 様   | 北口 誠 様   | 高橋 良輔 様  | 福元 晃 様           |
| 安食 美和 様   | 倉林 敦子 様  | 武井 宏一 様  | マーティン ジャック 様     |
| 麻生 俊英 様   | 黒野 康生 様  | 田幡 秀之 様  | ますだ たかこ 様        |
| 荒川 朱美 様   | 桑原 清 様   | 千代 継 様   | 宮川 めぐみ 様         |
| 五十嵐 邦夫 様  | 小島 俊 様   | 千原 遠見彦 様 | 三好 明美 様          |
| 石井 昭男 様   | 小杉 貴一 様  | 出口 武志 様  | 本橋 麻衣子 様         |
| 石田 周一 様   | 児玉 直之 様  | 徳田 和宏 様  | 森 深希 様           |
| 板垣 稔 様    | 小林 淳志 様  | 豊島 洋子 様  | 森本 正信 様          |
| 伊藤 秋津 様   | 今野 義之 様  | 豊田 茂芳 様  | 山内 實 様           |
| 岩澤 直純 様   | 齋藤 麻紀子 様 | 豊田 直之 様  | 山形 照恵 様          |
| 岩田 慶隆 様   | 齋藤 光洋 様  | 中島 憲次 様  | 山口 大輔 様          |
| 宇都宮 晴子 様  | 坂田 辰男 様  | 中安 一雄 様  | 山口 剛史 様          |
| 大久保 雄一郎 様 | 佐藤 かおり 様 | 夏井 敬史 様  | 山田 千暁 様          |
| 太田 弘 様    | 澤田 眞治 様  | 西尾 早知子 様 | 山中 正竹 様          |
| 大塚 早希子 様  | 澤野 雅之 様  | 西岡 宗司 様  | 渡部 公 様           |
| 岡田 将子 様   | 澤村 美保 様  | 林 諭 様    | 渡辺 健 様           |
| 岡村 幸博 様   | 杉山 慎也 様  | 原 豊文 様   | 医療法人社団 湘南太陽会 様   |
| 岡本 輝行 様   | 鈴木 慈子 様  | 平井 裕二 様  | 株式会社 大野製作所 様     |
| 小野山 章久 様  | 鈴木 智之 様  | 平岡 秀夫 様  | 株式会社泉心会          |
| 加島 隼人 様   | 鈴木 直亮 様  | 平元 彩 様   | メディカルサービス 様      |
| 加納 健 様    | 隅田 都保美 様 | 廣井 敬三 様  | 認定NPO法人 あっちこっち 様 |
| 壁谷 利秀 様   |          |          | 丸忠運輸株式会社 様       |
| 亀井 洋子 様   |          |          |                  |
| 川上 匠 様    |          |          |                  |

〇〇〇〇 お名前とご寄附金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※五十音順 〇〇〇〇

朝香 純子 様	50,000円	中川 武夫 様	50,000円
東 陽一 様	10,000円	中澤 信子 様	10,000円
足立 久美子 様	200,000円	中田 隆之 様	50,000円
阿部 敏子 様	50,000円	中村 年秀 様	3,000円
新井 雄一 様	50,000円	西岡 彩子 様	20,000円
池田 達哉 様	20,000円	野口 吉昭 様	50,000円
井坂 誠司 様	500,000円	浜脇 文子 様	20,000円
和泉 麻衣 様	10,000円	日野 順三 様	10,000円
井上 文男 様	20,000円	平元 周 様	300,000円
猪原 修造 様	10,000円	福田 みほ 様	300,000円
井元 健太 様	7,000円	藤田 晃朗 様	50,000円
岩崎 輝行 様	20,000円	保坂 正伯 様	10,000円
上田 典子 様	10,000円	堀内 真一 様	100,000円
上田 豊 様	250,000円	前田 治 様	40,000円
上村 隆 様	20,000円	松橋 秀之 様	30,000円
内田 明子 様	50,000円	三宅 はつえ 様	10,000円
近江 幹子 様	20,000円	村上 敏也 様	50,000円
岡本 輝行 様	10,000円	森田 治子 様	10,000円
小田 喜子 様	300,000円	森本 聡 様	30,000円
尾上 浩一 様	60,000円	山口 達也 様	20,000円
粕谷 文雅 様	100,000円	山口 徳行 様	100,000円
神田 昌実 様	200,000円	山本 佑亮 様	50,000円
清澤 功 様	10,000円	吉川 博子 様	50,000円
小杉 貴一 様	20,000円		
児玉 勇 様	50,000円	一般財団法人よこしんふれあい財団	
小林 猛 様	60,000円	理事長 大前 茂 様	1,000,000円
小林 二三子 様	50,000円		
齋藤 實 様	300,000円	医療法人社団咲陽会 ふかわ矯正歯科	
佐藤 治 様	100,000円	府川 俊彦 様	300,000円
塩川 哲男 様	10,000円		
柴山 純一 様	12,000円	神奈川県福祉事業協会	
柴山 紀子 様	10,000円	会長 伊坂 重憲 様	500,000円
鈴木 恵一朗 様	20,000円		
高橋 淳 様	5,000円	株式会社 トライ・インターナショナル	
武井 浩 様	30,000円	麵場 田所商店 瀬谷店 様	48,050円
竹内 一器 様	10,000円		
竹峰 誠一郎 様	10,000円	共同企業体 相模アスコン 様	2,355,000円
長南 昌彦 様	100,000円		
戸塚 由美子 様	40,000円	ロッキンヨコハマ155実行委員会 様	100,000円
豊田 和子 様	20,000円		
長井 麻美 様	500,000円		

多くの皆様からたくさんのご寄附をいただきました。  
ありがとうございました。

# 平成29年度 よこはま夢ファンドの報告

## — 支出の部 —

### ●登録団体助成金 ……40事業に、総額34,249,356円を助成

高齢者の居場所づくり、子育て支援、芸術、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

#### ✿平成29年度第1回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験	450,000円
2	Yokohamaこども応援団	ワークライフバランス(子育て支援)事業 ①パパ&ママと赤ちゃんふれあい運動遊び ②お父さんと遊ぼう	58,560円
3	アース・エコ	親子で実践する地球温暖化対策事業	120,000円
4	エスペラントよこはま	国際交流写真・各国現地語教科書展	70,000円
5	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域団体・企業・市民の連携による地域交流会開催事業	300,000円
6	カウンセリングオフィスSAR A	カウンセリング事業	1,400,000円
7	みどりITコミュニティサポーターズ	市民IT普及事業推進のためのパソコン購入	210,000円
8	ふらっとステーション・ドリーム	ふらっとステーション 賑わい広場(コーナー)開設事業	50,000円
9	こんにちは・国際交流の会	国際交流事業 ～「バス研修旅行」～	200,000円
10	ルンビニー・わらべ園	講演会・ワークショップ運営事業	420,000円
11		保育環境整備事業	72,000円
12	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業(クラス開催、交流会開催、冊子発行)	360,468円
13	スローレーベル	ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017での福祉活動PR・市民参画事業	3,100,000円
14	ミニシティ・プラス	特命子ども地域アクタープロジェクト	321,000円
15		こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」	818,000円
16		第一回 U-19こどものまち全国サミットin横浜	524,700円
17	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営事業	9,706,728円
18	はぐくみ心理相談所	一般個人向けカウンセリング啓発のための広報活動	350,000円
19	スマイルオブキッズ	滞在施設運営事業	4,800,000円

✿平成29年度第2回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	ひだまりの森	孤立しがちな子育て期の方のための「小さなしゃべり場」事業	80,000円
2	草の根援助運動	ニュースレター「ぴいぷる2」発行事業	80,000円
3	WE21ジャパン・旭	地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業(共育事業)	20,000円
4	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験	270,000円
5	海の森・山の森事務局	流域新聞メディア『大岡川ニュース』発行事業(継続)	1,000,000円
6	ピースデポ	「核兵器・核実験」モニター発行	1,565,000円
7	ヴィエムシイ	講演会の開催	90,000円
8	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営事業	4,212,000円
9	結ぶ	第7回あったか復興支援「わすれない3,11」～応援しよう都筑から～	70,000円
10	在日外国人教育生活相談センター・信愛塾	「居場所」を利用した音楽教室と絵画教室	300,000円
11	ミニシティ・プラス	こどものまち「ミニヨコキット」製作事業	313,000円
12	神奈川県防犯セキュリティ協会	『防犯技術セミナー』の実施	146,000円
13		協会の広報事業／イベントブルゾンの制作	81,900円

✿平成29年度第3回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	横浜移動サービス協議会	第4回 チャレンジ・ド・コンサート	290,000円
2	神奈川県環境学習リーダー会	「第24回市民環境活動報告会」	70,000円
3	横浜スケートボード協会	2018年スケートボード・プレスクール体験会事業	70,000円
4	Umiのいえ	子育て中の親を中心にした集い、学び、思いの分かち合いの場づくり活動	220,000円
5	スマイルボディネットワーク	乳がん自己検診メソッド指導者育成事業	70,000円
6	楠の木学園	第24回 楠の木学園発表会	600,000円
7		楠の木学園公用車更新事業	1,300,000円
8	アジア学校図書館ネットワーク	アジア諸国への図書寄贈	70,000円

● **組織基盤強化助成金** … 8団体に、総額2,400,000円を助成  
 継続して活動を続けていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を向上させる取組に助成しました。また、取組の効果を高めるために、横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設けました。さらに、助成団体同士が現況を報告したり、お互いにアドバイスをし合う情報交換会を平成29年10月20日に開催しました。

✿ **平成29年度組織基盤強化助成金**

	団体名	申請内容	交付金額
1	海の森・山の森事務局	ICT導入でNPO内情報の共有と広報発信強化	300,000円
2	スローレーベル	寄付・会員制度の強化および円滑な会計業務基盤の整備	300,000円
3	ダイヤモンド・フォー・ピース	事業拡大に向けた資金調達のための運営面および広報面の基盤強化	300,000円
4	フーズマイルぐりぐら	認知度向上を目指した広報物の制作	300,000円
5	WE21ジャパンこうほく	支援地視察を通じた民際支援事業の意義成果確認及び組織体制強化	300,000円
6	夢輪	情報発信力強化プロジェクト	300,000円
7	かながわ311ネットワーク	団体活動発展のための協力者獲得に向けた広報資料制作プロジェクト	300,000円
8	横浜にプレイパークを創ろうネットワーク	プレイパークって何だろう？誰でも知ってる場にする支援拡大プロジェクト	300,000円

● **専門アドバイザーの派遣**

会計処理の仕方を見直したい、行っている事業に関わる税金の種類や金額を確かめたい、雇用関係の規定が十分な内容になっているか確かめたいなど、団体が個別に抱える会計税務や労務に関する課題について、市民活動団体の運営に詳しい専門家(税理士や社会保険労務士)が、団体の事務所に直接伺い、アドバイスを行いました。 ※よこはま夢ファンドでは、専門アドバイザー派遣を受ける際に必要な費用の一部を助成しています。

【平成29年度の実績】 助成金額： 計84,240円  
 (派遣回数：税理士 2件 社会保険労務士 3件 計5件)

【派遣を受けた団体の声】

- ・就業規則や雇用に関する詳細もわかり、大変勉強になりました。
- ・労働保険料年度更新や社会保険算定基礎届の記入方法を丁寧にご説明いただき、とても助かりました。
- ・労働保険、雇用保険、社会保険等の手続きを行うことや、個人に対しては雇用契約書を作ることが、モチベーションを高めること、リスク管理のために大切であることがわかりました。ありがとうございました。

## ●各種講座の開催

1年間の会計処理の流れやNPO法人の会計基準／税金について、労務に関する規程や保険、雇用に関して必要な手続きについて、事業計画やPR、リーダーシップ等、組織の運営に必要な考え方やスキルについてなど、団体の会計、税務、労務、組織運営に関する講座を、市民活動団体の運営に詳しい講師を招いて、実施しました。

【平成29年度の実績】 講座名、講座開催数、延べ参加者数

- ・よこはまNPO会計塾（基本編） 4回、83名
- ・よこはまNPO労務塾 2回、44名
- ・NPO運営基礎講座 5回、36名
- ・寄附集めに関する講座 1回、37名

【派遣を受けた団体の声】

- ・初めて会計塾に参加しましたが、会計の基本がとてもよく分かりました。
- ・実務での管理を具体的に紹介していただき、今後の団体運営にとっても役立つと思います。
- ・労働時間の考え方や就業規則、労務規定など、大変分かりやすく参考になりました。

## 助成金を活用した事例紹介

～ 助成金を活用した登録団体の取組と感想をいくつかご紹介します ～

### <登録団体助成金を活用した団体の声>

#### 特定非営利活動法人 カウンセリングオフィスSARA 「カウンセリング事業」

カウンセリングオフィスSARAは、地域住民のメンタルヘルスの問題解決に取り組んでいる団体です。

メンタルヘルスの問題を抱えている方への支援は、カウンセリングを併用することが有効とされますが、敷居が高いイメージや経済的な問題からあきらめてしまう方も少なくありません。

当団体はNPO法人という形で社会的支援を受けながら、比較的低料金で専門性の高い臨床心理士の資格を持つカウンセラーがカウンセリングを実施しています。

平成29年度は、よこはま夢ファンド助成金を活用して、カウンセリング事業を行いました。

平成29年度の延べ相談件数は約2,500件で、メンタル面の不調で休職している方が仕事を継続できるようになったり、また、家庭内の不和がカウンセリングによりいい状態へと変化しているケースも多く見られました。

カウンセラーが多数所属しているため、各カウンセラーの得意な領域の相談と相談者のマッチングを検討し、よりニーズに応えることができ、医療機関や就労支援、障害者福祉機関との連携もあります。

今後もよこはま夢ファンドのような助成金を活用しながら、継続的にカウンセリングに通えるような事業を行っていきたいと思います。



## ＜組織基盤強化助成金を活用した団体の声＞

### **NPO法人 海の森・山の森事務局** **「ICT導入でNPO内情報の共有と広報発信強化」**

唯一の専従者である理事長に情報や業務が集中し、組織内での情報共有や作業が円滑に進まないという課題がありました。そこで、業務分担や情報共有の円滑化を図ることを目的にICTを導入し、広報発信の強化や資金調達・人材確保へとつなげる取組を行いました。これにより、今まで理事長が抱え込んでいた資金調達や事業展開について、スタッフ間の話し合いも頻繁に行われ、団体内で様々なアイデアが飛び交うようになり、情報共有も図れて風通しの良い団体へと成長しつつあります。

自己評価では、団体内の資源を総ざらいして、スタッフの能力や団体の組織力、得意分野などをスタッフ間で認識し、それらを活かしていくことが組織強化につながることに気づき、今後は人件費を確保してスタッフを育て、分業化を図りながら事業展開を進めていきます。

### **特定非営利活動法人 スローレーベル** **「寄付・会員制度の強化および円滑な会計業務基盤の整備」**

設立から5年を迎え、急速に拡大する事業規模に対して、自主財源比率の低さが課題と感じていました。そこで、継続的・安定的な組織運営を目指し、新たに広報担当を置き、活動のPRを推進することにより、寄付・会員制度の強化を行うと共に、会計業務基盤の整備を行いました。これらにより、新規に寄付や協賛を得ることができ、団体を取り巻く支援のネットワークの構築や、会計システムの見直し・整備ができつつあります。

自己評価では、日頃は目先の事業に集中しがちでコミュニケーションが円滑にいかないことが多い中で、改めて団体メンバーそれぞれが団体に愛着を持っていることや、お互いへの尊敬の念を持っていることが分かりました。時には一度立ち止まり、メンバー間で客観的に振り返ることが大事であり、そこで課題を洗い出して周囲の力も借りながら前進していくことを心がけます。

### **特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース** **「事業拡大に向けた資金調達のための運営面および広報面の基盤強化」**

資金調達を目的に、①長期的な事業計画・資金調達計画の策定、②支援者増員に向けた広報強化、③ガバナンス・経理面の基盤強化を行いました。計画の策定にあたっては、外部講師を招いて実施したワークショップを通して検討を重ね、広報強化に向けては、Facebookの反応を分析して改善を図ることでフォロワーを増やしました。また、ガバナンス・経理面の基盤強化では業務のマニュアル化や体制構築に関する助言を受けました。

自己評価では、SWOT分析やKPT法で団体について振り返り、今後の活動の内容や方向性、展開について議論しました。活動・組織全体を俯瞰し、事業の方向性や課題を考えるという意識と行動が芽生えたため、今後も将来的な事業・団体の発展を見据えた事業・組織運営を意識していきます。

### **特定非営利活動法人 フースマイルぐりぐら** **「認知度向上を目指した広報物の制作」**

これまで団体や全体の活動、会員制度を知ってもらう広報物がなく、事務局の専任者もいないために広報活動が進まず、必要な方に必要な情報が届かないという課題がありました。そこで、認知度向上を目指し、専門家にコンサルティングを依頼してリーフレットや簡易冊子などの広報物の作成を行いました。

自己評価では、役員・社員・ボランティアそれぞれの立場で、団体の今とこれからをどう感じているのか、これからどのようにしてほしいか、それに対して自分たちは何ができるかについて話し合いました。

今後は、団体に携わる方たちの特徴や思いを活かせるような場作りと、団体の体力をつけることを目指し、広報物作りやイベント企画についてもみんなで話し合いながら、形にしていけるような団体活動を行います。また、定期的にミーティングを開いて意識の統一やお互いにできることを話し合い、話し合いの中で出た具体案を実践に移すようにしていきます。

## 特定非営利活動法人 WE21ジャパンこうほく 「支援地視察を通じた民際支援事業の意義成果確認及び組織体制強化」

民際支援事業の現状や課題を理解するためには、支援事業地に行き実施プロジェクトの現状の把握や、受益者との交流も必要となりますが、支援事業地訪問経験者が少ないのが課題でした。そこで、支援地訪問交流視察ツアーを実施し、視察後は報告会の開催や報告書の作成を行いました。複数人が視察に参加したことにより、民際支援に関する情報発信力が飛躍的に高まり、報告会を重ねることで民際支援への理解が団体内外で強まりました。支援活動の仕組みや支援地の現状、課題を理解することで、今後の支援のあり方にも言及できるようになり、メンバーの伝える力が強化されることが組織の力になることを実感できました。

自己評価では、多くの参加者と意見交換したことで、全体の意識を上げる効果があることが分かり、自由に話せる機会を持つことの大切さに気づく有意義な時間となりました。

## 特定非営利活動法人 夢輪 「情報発信力強化プロジェクト」

現在の事業収入・会費・寄附金収入では、事業をまわしていくことが厳しい現状がありました。そこで、講座参加者数や会費・寄附金収入の増加を目的に、ホームページやニュースレター、他者とのコンタクトを見直して情報発信力を強化するための取組を行いました。これらにより、団体の活動に関心を持った人が知りたい情報を素早く知れるような工夫ができ、実際にホームページを見た方から連絡をいただいたり、団体の活動の場が広がってきました。

自己評価では、参加者それぞれが団体について考える時間を与えられ、様々な立場の方が団体に抱いている期待や課題を皆で共有することができました。それぞれが参加している講座だけではなく、団体全体に目を向けてもらうことが必要だと気付きました。

今後は、団体の活動に対し共有認識を持てる場作りや、情報発信力を強化し活動の輪を広げていきます。

## 特定非営利活動法人 かながわ311ネットワーク 「団体活動発展のための協力者獲得に向けた広報資料制作プロジェクト」

横浜での災害に備えるには多くの協力者が必要です。そのためには、デジタル広報主体で活動してきた当団体に取って不得意な紙媒体での広報活動の必要性がでてきましたが、趣旨目的を説明した広報資料が作成できずにいました。そこで、横浜市区の防災体制の課題分析やスキーム調査を行ったうえで団体の団体の果たすべき役割を明確化し、協力者獲得戦略の構築などを行いました。

自己評価は団体の課題を洗い出すために有効であり、課題とやるべきことが整理され、来年度の活動が具体的にイメージできるようになりました。

団体のミッションをわかりやすく説明した広報資料が作成でき、評判も良好です。今後は作成したリーフレットを活用して、協力者獲得のための取組を行い、他団体や行政との協力・協働体制を模索します。また、内部での情報共有についてもさらに円滑にしていきます。

## 特定非営利活動法人 横浜にプレイパークを創ろうネットワーク 「プレイパークって何だろう？誰でも知ってる場にする支援拡大プロジェクト」

利用世代以外の賛同者を増やし、寄附やボランティアスタッフの拡大を目的に、外部への発信力を強めるためのホームページのリニューアルを行いました。取組を通じて、団体の実績の整理や、プレイパーク事業を行う団体を支援する中間支援組織としての視点で内容の整理を行い、外部へのアプローチを検討することができました。

自己評価では、役員やプレイリーダー、活動団体運営者などがそれぞれが誰に対し何を伝えていくかや、どんな人と繋がりたいのかについて意見を出しあい、対象者別にねらいやアプローチ方法を考えてから動くこと効果的であることを確認できたので、今後に活かしたいと思います。

WEBリニューアルで魅力的な内容のサイトを構築できたので、プレイパーク支援事業の活動の幅を広げるとともに、中期・長期の目標や夢に向かっていくための具体的な行動を検討していきたいです。



●返礼品について

1万円以上ご寄附いただいた方には、みなとぶらりチケットワイドを2枚贈呈します。

[みなとぶらりチケットワイド]

横浜ベイエリアの市営バス、市営地下鉄一日乗車券。  
地下鉄「新横浜駅」も乗り降り自由です。

[適用区間]

市営バス:横浜～元町・港の見える丘公園、三溪園  
市営地下鉄ブルーライン:横浜駅～伊勢佐木長者町駅、新横浜駅



●よこはま夢ファンドリーフレットについて

平成29年度から、よこはま夢ファンドリーフレットをリニューアルしました。  
フルカラーにして、返礼品についても記載しています。

リーフレットは、各区市民活動支援センターや各区社会福祉協議会等に配布していますので、  
ぜひご利用ください。





平成30年12月発行

<お問い合わせ>

横浜市市民局市民活動支援課 よこはま夢ファンド担当

TEL 045-227-7965 FAX 045-223-2032

URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>  
(〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56 みなとみらい21クリーンセンタービル7階)